



# 曳舟幼稚園だより — 4月号 —

令和4年4月8日  
墨田区立曳舟幼稚園  
園長 吉岡 大司

ご進級おめでとうございます。  
～49年の歴史ある曳舟幼稚園の園生活を楽しみましょう～

園長 吉岡 大司

暖かな春の日差しを受け、桜の花が満開になったと思えば、春の雨と重なって、だいぶ葉桜になってしまった桜ですが、園庭には、様々な色鮮やかな草花が咲き、木々も新緑の葉をつけはじめ、春を感じる季節となりました。今年度は、廃園に伴い、新入園児を迎えることができない寂しい始まりとなりました。しかし、この歴史的な瞬間に、憧れの青バッチを付けたお兄さん・お姉さんの顔になったゆり組さんの9人の子ども達とともに、令和4年度の園生活がスタートさせることができました。

お子さまのご進級おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

幼稚園は、お友達との遊びを通して、人と関わる力や言葉で表現する力などを身に付ける学校です。私は、4年目となりました園長の吉岡 大司（よしおか だいじ）です。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年も、曳舟幼稚園の教育目標は以下のとおりです。

- げんきに
- やさしく
- すすんで

と設定し、園児たちの健やかな成長を支援し、指導してまいります。

入園から終了までの2年間で、園児たちは、遊びを通して大きく成長します。保護者の皆様には、お子さんの成長の姿を通じて、49年の歴史ある曳舟幼稚園の園生活を一緒に楽しんでいただきたいと思います。過日、3月の修了式では、保護者の方を2名まで参列させることができ、園長としては嬉しい限りです。園長から手渡された修了証書を園児が保護者の方に渡す際、「毎日おいしいお弁当をつくってくれてありがとう」などと、園児達が感謝を述べている姿を目の当たりにして、保護者の方々はもちろん、園長の私自身も感動したことを覚えています。

さて、未だ、世界中が、新型コロナウイルス感染症という未曾有の国難に見舞われ、多くの当たり前の日常を失い、コロナ禍が収束する未来が見えません。お兄さんお姉さんになったゆり組や保護者の皆様もいろいろな不安や戸惑いもあることと思います。

また、今年度は、曳舟幼稚園も閉園に向け、少人数になりましたが、様々な「交流」を通して、どうしたら、園生活を充実させることができるかを考えていきます。

ですから、頑張って幼稚園から帰ってきた子ども達をギュッと抱きしめてあげてください。そして、子ども達との「かけがえのない時間」を大切にしていましょ。

何か困りごとがあったら、保育のプロである幼稚園教諭にご相談ください。また、保護者の方々同士の情報交換も積極的に行ってください。「ほんき げんき なかよく」は曳舟幼稚園の子ども達の合い言葉です。「いきいき のびのび にこにこ」が保護者の合い言葉です。保護者の皆様と園長、副園長、担任、保育介助員等が協力し合い、よりよい幼稚園教育に取り組み、共に学んでいまいしょう。一年間よろしくお願ひいたします。

